

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立旭が丘小学校
校 長 名 半 田 大 樹
(公印省略)

令和7年度教育課程について（届）

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

「みんなの笑顔が輝く学校」「地域の風が行き交う学校」を目指し、以下の教育目標を設定する。

- よく考える子ども（課題を見付け、解決する力を伸ばす子ども）
- ◎ なかよくする子ども（思いやりの気持ちを持ち、人間関係を築ける子ども）
- がんばりぬく子ども（自分の目標に向かって、最後までやり遂げる子ども）
- からだをきたえる子ども（運動に親しみ、自らの健康に向かう子ども）

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

①よく考える子どもを育成するために

- ・あさひっこ「安心できる学校」プロジェクトで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、児童が安心して学び続ける授業づくりを行う。
- ・全教科・領域等で多様な学びの機会を設定し、主体的・対話的に学べる環境づくりを進める。
- ・自分の考えをもち、互いに学び合うことで、表現力を高め、深い学びを実現する。
- ・毎時間のねらいを明確にし、焦点化した発問と評価規準に基づいた振り返りにより授業改善を進める。
- ・授業のユニバーサルデザイン化により、全ての児童が分かる・できる喜びを味わえる授業を実践する。
- ・一人1台学習者用端末や ICT 機器を有効活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- ・学校図書館を活用した活動を計画的に実施し、探究的に学ぶ力を定着させる。

②なかよくする子どもを育成するために

- ・あさひっこ「安心できる学校」プロジェクトで、多様な他者との交流の場を設定し、児童が自己理解・他者理解を深め、思いやりの気持ちを持ち、良好な人間関係を築けるようにする。
- ・ひのスタンダードに沿って、全ての児童が居心地よい支え合う学校・学級環境を整える。
- ・“いのち”を大切に作る心情を育てるため、道徳教育を充実させるとともに、体験的な活動を重視する。
- ・道徳科の時間を核として、命のつながりに着目した活動を全教科・領域で取り組む。
- ・児童の人権感覚を磨き、思いやりの気持ちを育み、他者を尊重する態度を養う。
- ・学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。
- ・学校・家庭・地域が連携して、挨拶や言葉遣い、時間を守る等の基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・自分の命は自分で守るために必要な知識・技能、判断力・実践力を高める安全教育を進める。

③がんばりぬく子どもを育成するために

- ・粘り強く努力を続けられるよう、学年・学級・自己の目標を設定し、達成感を集団で共有する。
- ・地域の人材や環境等を活かし、児童が意欲的に学べる学習環境を整備する。
- ・教職員・保護者・地域が一体となって、郷土愛を育み、地域の発展に貢献する児童を育てる。
- ・地域人材を活用したSDGsの取組を生活科・総合的な学習の時間を中心としたカリキュラムに位置付け、充実させる。

④からだをきたえる子どもを育成するために

- ・体を動かす楽しさや心地よさを体験させ、運動の日常化を図る。
- ・健康に過ごすために必要な知識や技能が身に付くように、保健指導の充実を図る。
- ・食の大切さに気付かせ、生涯にわたる健全な食生活に向けて、主体的に取り組むための素地を養う。

第2表

学校名 小13 日野市立旭が丘小学校

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- 朝読書の時間を活用して、読書習慣の定着を図る。
- 各教科の学力を定着させるために書く活動を積極的に取り入れるとともに、既習事項やICT機器等を活用した授業を実践する。
- 個別学習・グループ学習・習熟度別学習等、多様な学習形態を工夫し、考えを語り合いながら学び合う授業への改善を図り、個別最適な学びを実現する。
- 基礎的・基本的な内容の習得・定着を図るため、始業前の時間に算数の反復学習を行う。
- 算数では全学年で習熟度別指導を取り入れ、個に応じて基礎・基本の定着や発展的な学習を充実させる。
- 学校図書館を読書や読み聞かせ、調べ学習等の探究的な学習の場として利活用できるようにする。
- 始業前にアクティブスポーツを行い、多様な種目の運動に取り組ませ、体力の向上を図る。
- 保健指導と食育指導により、自分の心と体への関心を高め、遊びや運動に親しみ心身ともに健康な児童を育成する。

イ 特別の教科 道徳

- 「生命の尊さ」「親切・思いやりの心」等、命のつながりを重点項目として、豊かな心を育む。
- 考え議論する活動を通して自己を見つめ、多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力を培う。
- 人権感覚を磨き、自他を大切にするための道徳的判断力・心情・実践意欲の育成を図る。

ウ 外国語活動・外国語

- 言語や異文化について体験的に理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- ALTを積極的に活用し、外国語を聞いたり話したりすることを通して言語の面白さや豊かさを学び、世界の国々への興味・関心を高める。

エ 総合的な学習の時間

- 教科横断的な年間指導計画を作成し、探究的な学びを通して「課題発見力」「課題解決・表現力」「生活に生かす力」の育成を図る。
- 旭が丘地域の人や物、自然、施設、企業等を積極的に活用し、体験的かつ専門的な指導を進める。地域の中にある様々な産業を調べたり見学したりすることで、質の高い知識を得たり、社会とのかかわりについて考えを深めたりできるようにする。
- 雑木林を生かした学習を推進し、生き物と植物のつながりや生活との関係を主体的・創造的に学び、よりよく生きるために持続できることを考える意欲を育てる。

オ 特別活動

- 望ましい集団活動、個性伸長、集団の一員としての自覚をねらいとし、互いの意見や考えを尊重し認め励まし合える学級づくりを行い、達成感や自己有用感を体得させる。
- キャリアパスポートを活用し、夢や目標について実践したことや振り返ったことを記録し、自己の成長を実感できるようにする。
- 異年齢集団による「たてわり班活動」や「なかよし学級」、児童会活動・学校行事を通して集団の一員としての自覚を高めるとともに、相手の立場に立って考える態度を育成する。
- 高学年児童はリーダーとしての自覚と責任感、学校のために役立とうとする主体的な行動力を育てる。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- 教職員自らが手本となり、生活環境を整える。一人一人の状況を把握し、呼名には必ず「～さん」「～くん」を付けること、挨拶することを徹底する。
- 特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援委員会を月2回開催し、学校の課題を把握する。個別指導計画・かしのきシートを作成・活用し、家庭や関係機関と連携しながらサポート体制を構築し、特性・環境等に応じた指導・支援の充実を図る。
- 出席状況調査を活用して一人一人の状況をきめ細やかに把握する。また、校内支援委員会を中心に、家庭訪問や面談等の機会を活用し、関係機関等と連携して不登校の未然防止・早期支援に向けた組織的な取組に努める。
- 全教職員がいじめ重大事態を正しく理解し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応や、重大事態にさせないための初期対応を徹底する。学校いじめ対策委員会を校内支援委員会と兼ねる形で、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を組織的に行う。
- 様々な場面を想定した避難訓練を行い、災害発生時に対する教職員の危機管理意識を高める。警察や安全協会等の関係諸機関と連携を図り、セーフティー教室や交通安全教室を実施し、状況に応じて的確に判断し行動できる児童の育成を図る。
- 児童が安全に生活できるように「生命(いのち)の安全教育」に係る生活安全朝会を学期に2～3回行うとともに、高学年の児童には「SNSに関する安全教育」を学期に1回行う。
- 自分で解決することが困難な時に助けを求められるようSOSの出し方に関する教育を月1回行う。

イ 進路指導

- 全教員が児童一人一人のよさを発見し、その個性や特性を生かす活動の場を設定し、目標の達成に向かって意欲的に生活する態度を育てる。
- 円滑な集団適応を図るため、幼児園交流や中学校交流会等、連携した取組を充実させる。
- ソフトボール投げ教室、夏季学習会等、近隣の中学校・高等学校の生徒や大学生から直接学ぶことで、先輩に憧れをもち、将来に向けて自分を高め、伸ばしていこうとする心情を育てる。
- 四中地区青少年育成会の行事に積極的に参加するように促し、児童に地域社会の一員としての自覚をもたせる。また、競技会への参加やコンクール・作品展への応募等を通して、児童自ら長所を発見・伸ばし、自己を向上させる意欲を育てる。

(3) 特色ある教育活動

- 学校が全ての児童にとって居場所や活躍の場として機能するようにあさひっこ「安心できる学校」プロジェクトの取組を推進する。
- なかよしプロジェクトを児童の実態に合わせて実施し、多様な他者との交流する機会を設ける。
- コミュニティスクール(CS)として、学校評議員、PTA、学校支援地域ボランティア(ASV)、旭が丘商工連合会等で学校支援組織を構成し、学力向上・地域安全・交流等の地域活動を行う。
- ASVや旭が丘商工連合会、及び農業指導者の協力を得ながら、大根、サツマイモ、稲、花等の栽培活動を行い、生産の喜びと大変さを体得させる。
- 東京光の家、夢ふうせん等の福祉施設への訪問を通して、様々な人との共生について考えさせる。
- 保護者・地域の有志によるこもれび守り隊を中心に雑木林の保全・利活用を図る。東京都愛鳥モデル校として、雑木林に生息する生き物や植物に親しみ、生命のつながりについて考え、命の尊さを感じる力を育てる。
- 毎週1回、始業前に9種目の運動を楽しむ活動「アクティブスポーツ」に取り組み、生涯スポーツに向けた学校2020レガシーの取組の充実を図る。
- 幼稚園、保育園と交流し、交流給食、派遣授業等を行い、幼稚園、保育園、小学校の互惠性のある交流活動を推進する。また、スタートカリキュラムを年間35時間実施し、小学校入学後に、スムーズな学校生活への移行ができるようにする。
- 学区域在住の障害のある児童との副籍交流を通して、人権感覚や思いやりの気持ちを育成する。
- 学校図書館や学校図書館司書を活用し、児童の情報の収集・選択・活用能力を育成する。

第 3 表

学校名 小 13 日野市立 旭が丘小学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

[illegible]

(2) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数配当表

領域		学年	1	2	3	4	5	6
各教科	国語		306	315	245	245	175	175
	社会				70	90	100	105
	算数		136	175	175	175	175	175
	理科				90	105	105	105
	生活		102	105				
	音楽		68	70	60	60	50	50
	図画工作		68	70	60	60	50	50
	家庭						60	55
	体育		102	105	105	105	90	90
	外国語						70	70
	小計		782	840	805	840	875	875
特別の教科 道徳			34	35	35	35	35	35
外国語活動			(0)	(0)	35	35		
総合的な学習の時間					70	70	70	70
特別活動	学級活動		34	35	35	35	35	35
	クラブ活動					()	()	()
	委員会活動						()	()
総計			850	910	980	1015	1015	1015
備考	① 1単位時間は45分とする。スタートカリキュラムは35単位時間とする。 ② クラブ・委員会活動は45分授業とし、10回実施する。 ③ 総合的な学習の時間の名称は「あさひタイム」とする。							

第4表の1

学校名 小13 日野市立 旭が丘小学校

4 学 校 行 事

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	火		木	遠足(3)	日		火	社会科見学(6)	金		月	安全指導
2	水		金	避難訓練	月	安全指導	水		土		火	避難訓練
3	木		土	憲法記念日	火		木		日		水	
4	金		日	みどりの日	水	避難訓練 社会科見学(4)	金	避難訓練	月		木	
5	土	春季休業日終	月	こどもの日	木		土		火		金	
6	日		火	振替休日	金	定期健康診断終	日		水		土	
7	月	始業式 入学式	水		土	学校公開 学校説明会 セーフティ教室	月	安全指導	木		日	
8	火		木	遠足(2) 水泳指導始	日		火		金		月	
9	水	給食始(2～6)	金		月	振替休業日	水		土		火	
10	木	定期健康診断始	土		火		木		日		水	
11	金		日		水		金		月	山の日	木	
12	土		月	安全指導	木	体力テスト始	土		火	閉庁日始	金	
13	日		火		金	体力テスト終	日		水		土	
14	月	安全指導 交通安全教室(1)	水		土		月		木		日	
15	火	給食始(1) 市学調(5)	木		日		火		金	閉庁日終	月	敬老の日
16	水	地域訪問始	金		月		水		土		火	
17	木	国学調(6)	土	運動会	火	日光移動教室(6)始	木	給食終	日		水	
18	金		日		水		金	終業式	月		木	
19	土		月	振替休業日	木	日光移動教室(6)終	土		火		金	
20	日		火		金		日		水		土	
21	月		水	音楽・芸術鑑賞教室	土		月	海の日 夏季休業日始	木	夏季学習会後期始	日	
22	火	地域訪問終	木	自転車安全教室(4)	日		火	夏季学習会前期始 個人面談始	金	夏季学習会後期終	月	
23	水	避難訓練	金		月		水		土		火	秋分の日
24	木	遠足(4)	土		火		木	夏季学習会前期終 個人面談終	日	夏季休業日終	水	
25	金		日		水		金		月	始業式	木	
26	土		月		木		土		火		金	
27	日		火	ハヶ岳移動教室(5)始	金		日		水		土	
28	月		水	ハヶ岳自然教室(5)終	土		月		木	給食始	日	
29	火	昭和の日	木		日		火		金		月	
30	水		金		月		水		土		火	
31			土				木		日			

第4表の2

学校名 小13 日野市立 旭が丘小学校

月	10月		11月		12月		1月		2月		3月		
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	
1	水		土	東京都教育の日	月	安全指導	木	元旦	日		日		
2	木		日		火	社会科見学(3) SOSの出し方教育(5)	金		月	振替休業日	月	安全指導	
3	金	避難訓練	月	文化の日	水		土		火		火		
4	土		火		木	避難訓練	日		水		水		
5	日		水	水泳指導終	金		月		木		木	避難訓練	
6	月	安全指導	木		土		火		金		金	災害体験者から学 ぶ教室(5)(6)	
7	火	遠足(1)	金	避難訓練	日		水	冬季休業日終	土		土		
8	水		土		月		木	始業式 安全指導	日		日		
9	木		日		火		金	給食始	月	安全指導 避難訓練	月		
10	金		月	安全指導	水		土		火		火		
11	土		火		木		日		水	建国記念の日	水		
12	日		水		金		月	成人の日	木		木		
13	月	スポーツの日	木		土		火	避難訓練	金		金		
14	火		金		日		水		土		土		
15	水		土		月		木		日		日		
16	木		日		火		金		月		月		
17	金		月		水		土		火		火		
18	土	学校公開 道徳授業地区公開講座	火		木		日		水		水		
19	日		水		金		月		木		木		
20	月	振替休業日	木	社会科見学(4)	土		火	薬物乱用防止教室	金		金	春分の日	
21	火		金		日		水		土		土		
22	水		土	開校記念日	月		木		日		日		
23	木		日	勤労感謝の日	火		金		月	天皇誕生日	月	給食終 離任式	
24	金		月	振替休日	水	給食終	土		火		火	卒業式	
25	土		火		木	終業式	日		水		水	修了式	
26	日		水		金	冬季休業日始	月		木		木	春季休業日始	
27	月	生活科見学(1)	木	小学校連合音楽会(6)	土		火		金		金		
28	火	社会科見学(5)	金	小学校連合音楽会(6)	日		水		土		土		
29	水		土		月		木					日	
30	木	生活科見学(2)	日		火		金	音楽会(児童鑑賞日)				月	
31	金				水		土	音楽会(保護者鑑賞日)				火	